

# こどもと音楽



フルーツハーモニーの練習では、合奏やうた、劇にダンスなど、ひとり一人が楽しんで表現しています。曲が流れると、みんな嬉しそうに踊ったり、はしゃいだり、みんな音楽が大好きです。今回は、「音楽」が子どもに与える影響と、幼児クラスの音楽の環境について、お話しします。

## 音楽が子どもに与える良い影響

### 言葉の習得や理解力の発達を促す

言葉を聴く能力、話す能力、そして読み書きの能力、そのすべての発達を促します。音楽を聴いて、一緒に歌いながら新しい言葉を覚え、言葉を聴く力をつけていき、流暢に言葉を話せるようになっていくのです。そして対人コミュニケーションも上手になっていきます。

### 自分の意思で 上手に身体を動かせるようになる

例えば、打楽器の入った音楽を聴いていると、そのリズムを身体と耳で感じる事ができますよね。そして、徐々に自分の身体を使って、上手に合わせる事が出来るようになります。

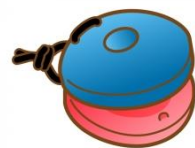
### 協働していく事を覚える

歌を歌ったり、演奏したりするようになると、他の人と一緒に、他のパートと協力しながら進めていくことを覚えます。音楽を楽しむためには、協働していくことも大切であるとわかるのです。他の人とリズムを合わせたり、パートを分け合ったり、全員で歌ったりと一緒に楽しむと、一人で楽しむより大きな楽しみを感じられるでしょう。



### 脳を刺激する

特に乳幼児期は、脳が著しく発達していきます。このタイミングで、よく音楽を聴くと、脳のレスポンスが早くなり、さまざまな刺激が与えられて、発達が加速されます。



## <幼児クラスでの音楽環境>

- 各年齢ごとのレッスンでは、リズム遊びを取り入れ、子どもたちが楽しんで参加できるよう工夫しています。
- コーナータイムに、メロディオンのコーナーを設定し、子どもたちが自主的に取り組める環境づくりをしています。
- サークルタイムに顔を見合わせながら歌うことで、自然と笑顔になり、異年齢でのびのび楽しく歌うことができます。このような経験をすることで、子どもたちは歌うことが好きになっていきます。